

全Aネット就労支援セミナー仙台

検証！A型事業所の経営破綻を防止するには・・・

報告書

日時 11月16日（土）14：00～17：00、17日（日）10：00～15：00

場所 東北福祉大学 仙台東口キャンパス

16日参加者

基調講演 萩原 義文（NPO 法人就労継続支援A型事業所全国協議会 副理事長）
ファシリテーター 飯嶋 茂氏（認定NPO 法人麦の会 代表理事）
シンポジスト 菊地 康子氏（NPO 法人シャロームの会 代表）
石頭 悦氏（株式会社幸呼来 Japan 代表取締役）
上野 容子氏（社会福祉法人豊芯会 顧問）

基調講演

広島、岡山におけるA型事業所の経営破綻による大量解雇の事件について、経緯からその後の対応まで丁寧に解説頂けた。破綻後にすぐに関係機関が連携して解雇となった利用者の支援取り組み、かなり多くの方を再就職につなげていた。併せて既存のA型事業所へ、中小企業診断士等の経営の専門家と連携してセミナー等を行い、改善に向けて様々な取り組みも行っている。大量解雇は痛ましい事件ではあるが、現状のA型が抱える問題の本質と対処法を提示しており、改めて真剣に向き合わなければならない事案だと感じた。

シンポジウム内容

菊地康子氏：

職親制度の支援から始まり、その後A型事業所を開設したが、経営の難しさからB型に変更して現在に至った経緯を説明頂いた。A型事業所の運営の難しさのリアルな声と、それに対する施設種別の変更という一つの解決の形を提示して頂けた。

石頭悦氏：

「裂き織」という地域の伝統工芸と福祉事業を結び付けて成功している事例をご紹介頂いた。自社製品を作る事業所は多いが、幸呼来 Japan は中でも飛びぬけてブランディングに秀でている。売上の向上に悩むA型事業所へのヒントが示されたように感じた。

上野容子氏：

地域において古くから精神障害者の支援を行い、その結果として作業所～A型事業所へ至る経緯と事業内容について説明頂いた。自社でも様々な施設を運営しながら関係機関とも連携し、保護ではなく労働を通しての社会参加・共生社会の実現へ向けて活動しており、A型事業所の向かう先について道筋を示して頂けた。



1日目 会場の様子



シンポジスト 左より飯嶋氏、菊地氏、石頭氏、上野氏

まとめ

A型事業所の経営破綻は、生きづらさを抱える利用者にとっては出来るだけ避けねばならないことであることは事実である。利用者への支援は当然であるが、事業者には「事業をうまくいかせろ」と単純に責めるだけでは問題は解決しない。既に起こった問題をつぶさに解析し、うまくいかせる為にどのような方法があるのか、うまくいかなかった場合はどうするのか。様々な解決策を施し、事業者ごと支援していくことが問題解決への手がかりであるように感じた。

17日 分科会

Aコース

「健全なA型事業を目指して～福祉支援と就労事業の充実～」

講師：(福)ぷろぼの 山内 民興氏

NPO 法人 A t o M s 阪本 佳央氏

- ・健全A型の経営とは
- ・現在とこれからの福祉の課題
- ・福祉型リーダーシップとは
- ・これからの福祉を考える

Bコース

「黒字化経営に転換するため経営を学ぼう」

講師：全Aネット 副理事長 萩原 義文氏

中小企業診断士 乙倉 淳氏

- ・A型事業所の制度と運営の正しい理解
- ・適切な価格設定、必要経費の考え方
- ・事業所のPRと営業を行うための基本